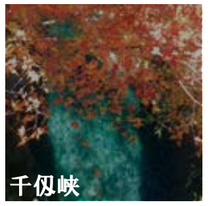
仁淀ブルー

安居渓谷

県立自然公園

Yasui Valley



西日本最高峰
石鎚山系の森から流れ注ぐ
安居渓谷県立自然公園。

特に真夏の深緑
秋の紅葉は絶景です。

流域には古式ゆかしい安居神楽が伝承され
文人ゆかりの地でもあります。

花々が咲き誇る春。
滝が凍りつき一面白銀の世界になる冬。
四季を通して色々な仁淀ブルーを
堪能できる美しい渓谷です。

安居渓谷までのアクセス

高知龍馬空港より　お車で約 1 時間 40 分
高知自動車道 ― 194 ― 439 ― 県道安居公園線

高知駅より　お車で約 1 時間 30 分
33 ― 194 ― 439 ― 県道安居公園線

松山市より　お車で約 2 時間 10 分
33 ― 194 ― 439 ― 県道安居公園線

安居渓谷のみどころ

千　仞　峡	安居渓谷屈指の切り立った絶壁が続く場所。
① みかえりの滝	安居渓谷最初の見どころ。千仞峡を渡ると広沢谷より流れ出る小川が数段、段違いになって落ちる滝。 名前の由来は「立ち去る前にもう一度ふり返って見たい滝」という云われがある。
② 荒　男　谷	宝来荘より上流に進むと大きな岩の間を荒々しい流れの場所がある。
③ 乙 女 河 原	荒男谷とは対照的な穏やかな流れ。飛龍の滝へはここの沈下橋を渡る。
④ 飛 龍 の 滝	昭和 32 年に発見された安居渓谷のシンボル。乙女河原の遊歩道を 10 分ほど進む。 龍が飛び立つように見える優美な滝。
⑤ せり割洞穴	もみじ公園より水辺に向かう遊歩道を進むと巨岩で覆われた洞穴があり、通り抜けると仁淀ブルーが見える。
⑥ 水　晶　淵	砂防ダムとならび最も仁淀ブルーが堪能できる場所。 一番綺麗な時期は９月～１月、時間帯はお昼前後がおすすめ。
⑦ 背 龍 の 滝	水晶淵上部の町道脇山手にあり、手の届くところで水しぶきを感じることができる滝。
⑧ 昇 龍 の 滝	落差 30m、せりだした崖から流れ落ち、雨量が多い時には二筋、三筋の滝になる。 冬季には巨大な氷柱ができ、氷の彫刻が現れる年も。

仁淀川町観光協会
〒781-1501　高知県吾川郡仁淀川町大崎 460-1　TEL 0889-35-1333

仁淀川町池川総合支所　池川地域課
〒781-1606　高知県吾川郡仁淀川町土居甲 916-3　TEL 0889-34-2114